

〔執筆者紹介〕（掲載順）

清水 太郎（しみず たろう）公文書館専門員
伊藤 康（いとう やすし）公文書館総括専門員
松岡 資明（まつおかただあき）日本経済新聞社編集委員
安藤 文雄（あんどうふみお）公文書館専門研究員
野崎喜代美（のざき きよみ）公文書館専門員
西村 卓（にしむらたかし）同志社大学経済学部教授

〔編集後記〕

第五号をお届けします。今号は、当館が日々取り組んでいる調査・研究の成果はもちろんのこと、外部の有識者・研究者の玉稿を掲載することができました。

松岡資明氏は、ジャーナリストの立場から、一貫してアーカイブズの重要性和社会的意義を訴えてこられました。その講演録を再読して、あらためて資料保存の重要性を痛感しています。

日本農業史がご専門の西村卓氏には、大島佐知子氏（第四号掲載論文）の書評を頂戴しました。大島さんは、鳥取県のお農・中井太一郎をご研究されていますが、いよいよ長年の研究成果が形になる、と聞き及んでいます。

さて、本年度の当館は、特別展「澤田廉三と美喜の時代」を開催したことが特筆されます。関係各位の協力を得て、四千人近い入場者に観覧いただきました。巻頭の清水論文は、その成果の一端でもあります。

あらためて、各位にお礼申し上げますと共に、読者諸賢のご高覧のほど、お願い申し上げます。

（〇九・一・一二伊藤ヤ）

鳥取県立公文書館研究紀要 第五号

平成二二（二〇〇九）年三月二五日 発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒六八〇一〇〇一七

鳥取市尚徳町一〇一

TEL 〇八五七二二六―八二一六〇

印刷 中央印刷 株式会社